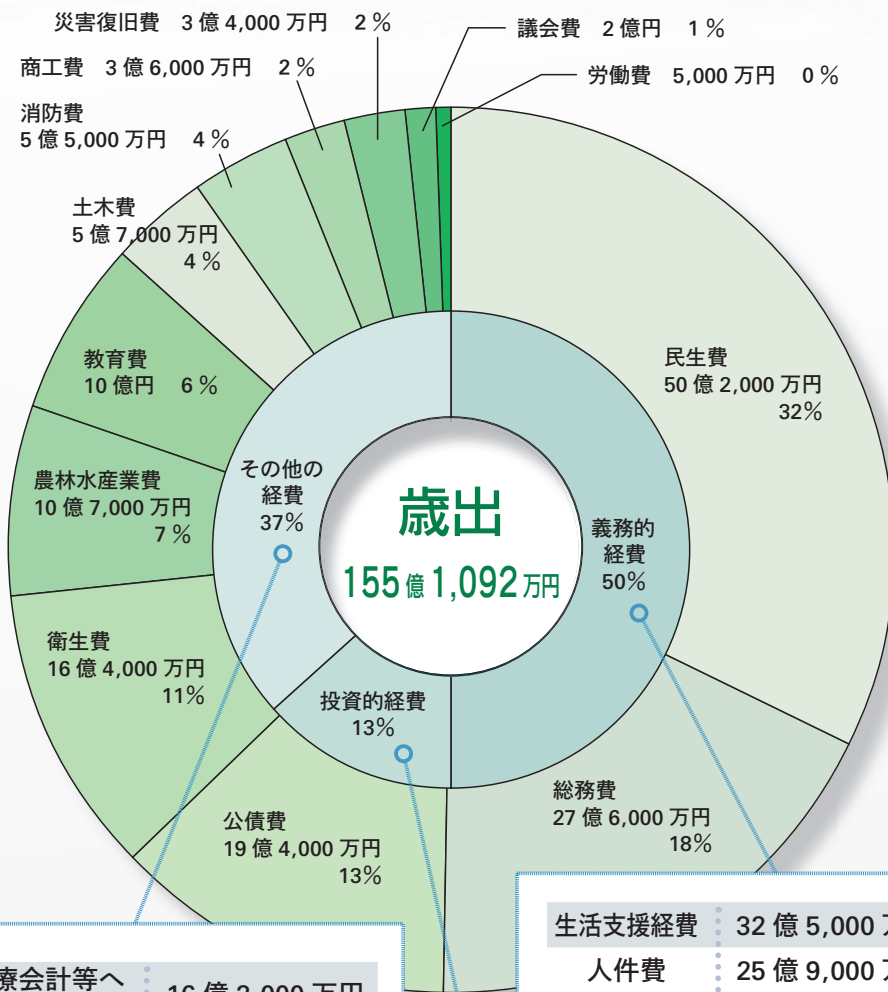


# 平成 23 年度決算 一般会計

平成 23 年度の一般会計決算が、平成 24 年度 9 月定例議会で認定されました。一般会計の決算の規模は、歳入 162 億 462 万円、歳出 155 億 1,092 万円となっています。歳入と歳出の差し引き額は、6 億 9,370 万円です。これには、翌年度に繰り越すべき財源の 1 億 6,702 万円が含まれていますので、これを除いた実質収支は、5 億 2,668 万円となります。

## 歳出 155 億 1,092 万円



医療会計等への繰出金	16 億 2,000 万円
物件費	13 億 8,000 万円
一部事務組合(未来館等)	10 億円
積立金	9 億 4,000 万円
補助費等	6 億円
維持補修費	1 億円
出資金・貸付金	2,000 万円
<b>合計</b>	<b>56 億 6,000 万円</b>













生活支援経費	32 億 5,000 万円
人件費	25 億 9,000 万円
借金返済	19 億 4,000 万円
<b>合計</b>	<b>77 億 8,000 万円</b>

普通建設事業費	17 億 4,000 万円
災害復旧事業費	3 億 4,000 万円
<b>合計</b>	<b>20 億 8,000 万円</b>

※金額及び比率は四捨五入し、わかりやすく表記してあります。

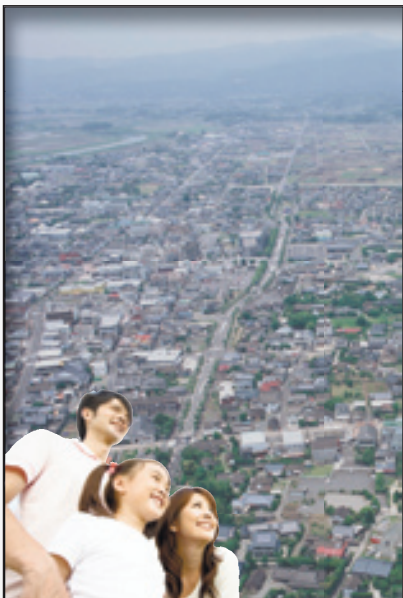
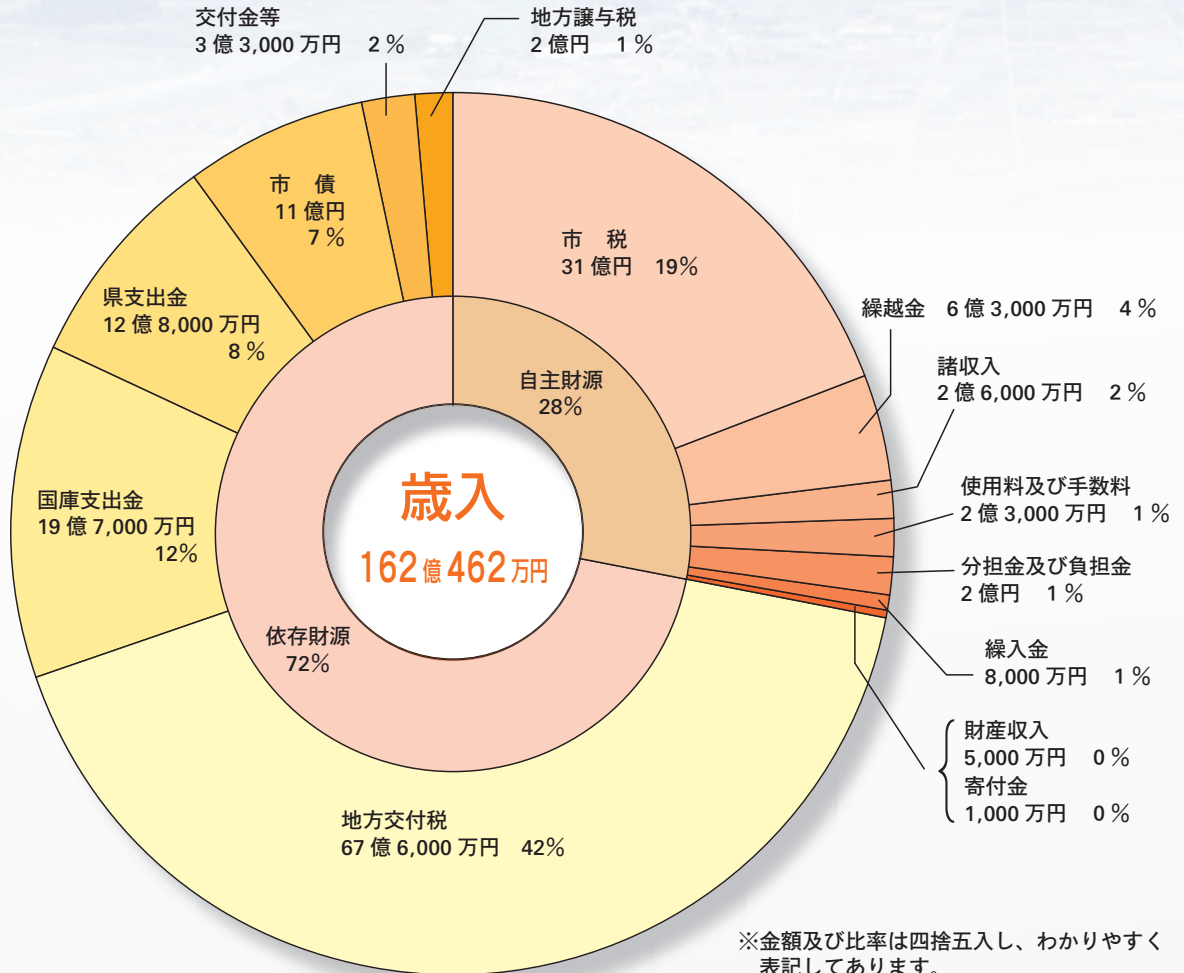
## 市民一人あたりのサービス内訳

基準 H 24.03.31 29,350 人

	民生費	171,082 円
	総務費	93,966 円
	公債費	66,239 円
	衛生費	55,780 円
	農林水産業費	36,577 円
	教育費	34,080 円
	土木費	19,267 円
	消防費	18,729 円
	商工費	12,347 円
	災害復旧費	11,722 円
	議会費	7,023 円
	労働費	1,669 円

# 伊佐市の財政状況

歳入 162億462万円



## 用語の説明

- 自主財源** 地方公共団体が自主的に収入できる財源
- 依存財源** 国や県から定められた額を交付される財源
- 地方交付税** 所得税や法人税などの国税の一部を、地方自治体間にある財源の不均衡を調整し、国民が受ける基本的な行政サービスが住む場所によって差のないようにするため、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金で、国から地方への仕送りと言われている
- 市債** 財源不足を補うため、国・県や民間の金融機関から借りるお金
- 国庫・県支出金** 市が行う特定の事務や事業に対して、必要な費用の財源として国・県から交付されるお金
- 義務的経費** 市の借金や人件費・扶助費（生活支援経費）など、支出しなければならない経費
- 投資的経費** 道路建設などのように、社会資本の形成に向けられる経費
- 公債費** これまで借り入れた市債などの返済に係る経費（借入金返済）
- 実質収支** 単年度の収入と支出の差額から、翌年度に繰り越すことが決まっている財源を差し引いたもの